

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：24520

学校名：札幌市立ノホ口の丘小学校

改訂のポイント		○子どもたちが生き生きと学ぶ、「分かる・できる・楽しい」授業の充実 ○特別活動の充実 ○札幌らしい特色ある教育活動の実施		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆目標をもって、心豊かに、力強く、自分のよさを発揮する子ども		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 ○主体的・対話的で深い学びを実現する授業 ○学びを深めるための、1人1台端末の活用	【成果】 ⇒89.2%の子どもが、「自分なりの疑問や課題をもって学習に取り組もうとしている。」と考えている。 ⇒92.4%の子どもが、「学習の中でICT機器を役立てている。」と考えている。	【課題】 ◇「自分で計画を立てて勉強している」子どもは75.4%、「自分の意見を進んで発言しようとしている」子どもは、74.7%にとどまっている。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○子どもの「考えたい」「表現したい」を生み出し、発信する力を高める。	【成果】 ⇒87.6%の子どもが「意見の違う人ともよく話し合おうとしている」と考えている。	【課題】 ◇「自分の考えがうまく伝わるように工夫している」子どもは78.4%にとどまっている。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○自分の学びを確かめる「振り返り」をし、新たな学びを活用する力を伸ばす。	【成果】 ⇒88.5%の子どもが「新しく学んだことを、他の学習や生活の場面で使おうとしている。」と考えている。	【課題】 ◇「振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じる」子どもが、81.1%である。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 子どもが主体的に学びを高める学習構成		
	具体的な改善策（取組）	●子どもの「学ぶ わかる 広がる」を意識した学習活動の構築 ①子どもの「やってみよう！」があふれ、主体的に学ぶ姿勢が高まる授業 ②対話による学びの高まりの検証 「教材との対話」「他者との対話」「自分との対話」 ・ICTの活用 ・トドマツタイム（総合的な学習の時間）の充実		●特別活動における「自分らしさ」をもつためのキャリア教育の推進 ●雪・環境・読書にかかわる教育活動の推進
方法	検証の方法	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）、ICTの活用に係るアンケートの具体的な活用		